

科目名	ドラマで学ぶ英語の世界 ～シェイクスピアから鬼滅の刃まで～				担当者	ナガノ アツシ 永野 篤						
区分	選択	2	単位	授業回数	15	回	授業形態	講義	学年	2年	開講期	後期
				授業時間数	30	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法	オフィスアワーまたは、nagano.atsushi@seiwa.ac.jp へのメール											
専門的 学習成果	①	言語としての英語の全体像の概略について説明できる。										
	②	現代英語における言語におけるリスニング力を向上させる。										
	③	現代英語コミュニケーションに求められる単語、文法力を向上させる。										
	④	英語によるドラマの視聴を通じて英語圏の文化、世界観について洞察できる。										
汎用的 学習成果	(1)	英語に関する歴史・発展の知識を身に付け、社会的自立に必要な知識を修得し、実践に活かすことができる。(専門的学習成果①②③に関連)										
	(2)	英語の単語力の向上を通じて、場面に応じた単語選択を可能とする。(専門的学習成果①②③に関連)										
	(3)	英語の文法力の向上を通じて、場面に応じた表現の違いの認識を可能とする。(専門的学習成果①②③に関連)										
	(4)	英語のリスニング力の向上を通じて、シチュエーションに応じた使い分けについての理解を可能とする。(専門的学習成果①②③に関連)										
授業概要	グローバル化の進展とユビキタス社会の発展に伴い、人類共通言語の一つとしての英語の重要性はこれまでになく高まっている。簡単なオーラルコミュニケーションから難解な英語論文でさえ、AIによる自動翻訳によってある程度意味を知ることができる。しかし、異なる言語の背景となる文化的相違の理解や、我々の考え方、感性を規定する枠組みの一つである言語の性質を知ることは自らの経験によって身につけていく。本授業では、ドラマ等を通じて英語という非母国語に触れ、多言語、多文化の理解を深めるものである。											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験										
		レポート										
		小テスト	100	各回実施し、各回6.6%を配点する。								
汎用的 学習成果	(1) は、専門的学習成果①②③で評価を行う。 (2) は、専門的学習成果①②③で評価を行う。 (3) は、専門的学習成果①②③で評価を行う。 (4) は、専門的学習成果①②③で評価を行う。											
テキスト 等	著者・編集者名		書名						出版社名			
参考書 参考文献	著者・編集者名		書名						出版社名			
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①オンラインを介した資料配布、小テスト、実力査定アンケートを行うため、インターネットに接続でき、かつ、操作が容易なスマートフォン、タブレット、ノートPCなどを持ち込んでください。 ②小テストは原則授業中に行い、集計後、速やかにフィードバックを行う。受講者全体の中に占める自身のポジションを確認し、かつ、誤った記憶や理解を正し、資格取得へ向上する姿勢を身に着けることを期待しています。 ③予習復習には、それぞれ1時間程度かけることが期待される。難易度は高くないが、繰り返しの発声練習が必要とされることが想定されるため、相応の空間を確保できる環境を整えるように準備してください。 ④紙または電子形式による辞書を携帯すること。											

授業計画			学習成果の評価
1回	授業内容	現代英語が成立するまで。ドラマ①視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	現代英語成歴史を俯瞰し、かつ英語ドラマ（アメリカ）を視聴し、言葉のスピード感に慣れる。	
	予習復習の内容	現代英語について事前課題に基づいた、単語類の理解・記憶に努める。	
2回	授業内容	現代アメリカ英語のリスニング。ドラマ②視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	英語ドラマを視聴し、言葉のイントネーションに慣れる。	
	予習復習の内容	現代英語について事前課題に基づいた、単語類の理解・記憶に努める。	
3回	授業内容	現代アメリカ英語のリスニング。ドラマ③視聴 「鬼滅の刃」を予定	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	英語に吹き替えられた日本のドラマを視聴し、翻訳された言語に慣れる。	
	予習復習の内容	現代英語について事前課題に基づいた、単語類の理解・記憶に努める。	
4回	授業内容	現代英語の基礎となった近代イギリス英語（発音）。ドラマ④視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	英語成立の歴史と、英単語類語のニュアンスの違いについて理解を深める。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語文章を暗唱できるように努める。	
5回	授業内容	現代英語の基礎となった中世イギリス英語（単語）。ドラマ⑤視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	英語成立の歴史と、英単語類語のニュアンスの違いについて理解を深める。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語文章を暗唱できるように努める。	
6回	授業内容	現代英語の基礎となった中世イギリス英語（定型詩）。ドラマ⑥視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	英語成立の歴史と、英単語類語のニュアンスの違いについて理解を深める。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語文章を暗唱できるように努める。	
7回	授業内容	現代英語の基礎となった中世イギリス英語（抑揚）。ドラマ⑦視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	英語成立の歴史と、英単語類語のニュアンスの違いについて理解を深める。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語文章を暗唱できるように努める。	
8回	授業内容	中世イギリス英語の現代アメリカへの適用。ドラマ⑧視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	イギリス英語とアメリカ英語の違いをリスニングから直感的に理解する。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英単語を理解・記憶する。	
9回	授業内容	中世イギリス英語の現代アメリカへの融合。ドラマ⑨視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	イギリス英語とアメリカ英語の違いリスニングから直感的に理解する。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語文章の文法を理解し構造を記憶する。	
10回	授業内容	現代アメリカ英語の二者間の会話（プライベート）。ドラマ⑩視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	アメリカ英語による親密な二者間のコミュニケーションを理解する。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語のダイアログを理解し、記憶する。	
11回	授業内容	現代アメリカ英語の二者間の会話（社交）。ドラマ⑪視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	アメリカ英語による二者間のコミュニケーションを理解する。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語のダイアログを理解し、記憶する。	
12回	授業内容	現代アメリカ英語のスピーチ。ドラマ⑫視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	アメリカ英語によるスピーチの形式と内容を理解する。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語スピーチの理解・記憶に努める。	
13回	授業内容	現代英語による、口頭によるコミュニケーション。ドラマ⑬視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	ネイティブ向けに作成された英語ドラマを字幕なしで少し理解する。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語のダイアログを理解し、記憶し、暗唱する。	
14回	授業内容	現代英語による、口頭によるコミュニケーション。ドラマ⑭視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	ネイティブ向けに作成された英語ドラマを日本語字幕なしである程度理解する。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語のダイアログを理解し、記憶し、暗唱する。	
15回	授業内容	現代英語による、口頭によるコミュニケーション。ドラマ⑮視聴	事前課題に基づいた小テストと、講義後の理解度テストを実施する。
	学習成果	ネイティブ向けに作成された英語ドラマを日本語字幕なしで、視聴できる。	
	予習復習の内容	事前課題に基づいた、英語のダイアログを理解し、記憶し、暗唱する。	